

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

会員の皆様

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情にあずかり、厚く御礼申し上げます。

香港日本語教育研究会は 2023 年に、創立 45 周年を迎えました。この 45 年間、在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、日本関係各団体及び機関のご指導、ご鞭撻並びに会員の皆様方の温かいご支援、ご協力を賜り、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。さらに、世界各国・地域において日本語教育・日本研究に携わっている方々や団体学術・教育交流に努めてまいりました。微力ながら日本語教育の発展に貢献できたことは、ひとえに皆様方よりの多大なるご支援とご協力の賜物で、衷心より謝意を申し上げます。

2020 年に発生した新型コロナウイルスが 2023 年に入り収束しつつあり、研究会のすべての活動と事業が次第に対面による開催や実施となり、徐々に活気が取り戻されました。

2023 年 3 月に国際交流基金のサクラネットワークの助成により第 15 回の香港日本語教育セミナーを 3 年ぶりに対面で開催いたしました。テーマは「日本語教師の専門性」で、講師は国際教養大学専門職大学院の伊東祐郎教授と武蔵野大学グローバル学部の神吉宇一准教授でいらっしゃいました。香港内、中国からも参加者がいらっしゃいました。講師の先生方にも参加者の皆様方にも、大変満足していただだけ、なにより喜ばしいことでした。改めて対面セミナーの良さを体感でき、感銘を受けました。

5 月 14 日に、「第 18 回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催し、4 部門において合計 26 名の小中高生が入賞しました。小中高学生の日本語の水準の高さと日本語・日本文化への情熱に圧倒されました。

なお、6 月に長年ご支援とご協力をいただいている学会誌『日本學刊』の第 26 号を出版し、香港及び海外の日本語教育・研究関係機関と会員に配布いたしました。

7月と8月に第13回日本語成績優秀者奨学金及び日本研究関係プロジェクト賞の書類審査と面接を実施し、9月に授与式を挙行了いたしました。奨学金は高校生3名、副学士課程の学生2名に、プロジェクト賞はそれぞれ7名と3名に授与いたしました。2023年度までの奨学金受賞者数は高校生63名、副学士課程の学生56名で、プロジェクト賞の受賞者はそれぞれ137名と114名でした。

さらに、香港で日本語教育に従事されている方々のご要望に応じるため、国際交流基金海外派遣日本語教育専門家の伊達久美子先生と田邊知成先生のご協力を仰ぎ、10月から集中日本語教師研修やワークショップ及び勉強会を実施し、好評を博しました。

7月及び12月には2023年度第1回と第2回の日本語能力試験(N1-N5)を実施し、応募者総数は16,924名で、2022年度の15,330名より1594名の10.4%の増加となっています。

香港日本語教育研究会は1994年より高等教育機関と連携し、2年ごとに国際日本語教育・日本研究シンポジウムを開催してまいりました。2020年に新型コロナウイルス感染拡大によって、各国・地域間の往来が殆ど中断された中で、同年11月に開催予定の第13回国際日本語教育・日本研究シンポジウムが、参加者や関係者の健康面での安全を考慮した結果、やむを得ず延期といたしました。ようやく、2022年の秋より、世界中の感染状況を鑑みて、第13回シンポジウムを2023年11月に、香港大学專業進修学院と共同開催することにいたしました。大会のテーマは「つながる多様性、広がる可能性」(Embracing Diversities, Igniting Potentials)でした。大会では三名の著名な日本語教育、日本研究の専門家でいらっしゃる愛知大学文学部特任教授・慶應義塾大学の平高史也名誉教授、中央大学文学部の山田昌弘教授、香港大学現代言語文化学部のミヒールセン・エドウィン助教授に基調講演をしていただくことにいたしました。さらに、大会では103件の発表があり、260名ほどの参加者がいらっしゃいました。5年ぶりの対面の国際シンポジウムが参加者から高い評価をいただきましたこと、開催者としてはこれ以上ない喜びになりました。

また、研究会は「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの日本語教育専門家・研究者と絶えずにオンラインでの交流や情報交換等に努めております。

対話とコミュニケーションが他人への理解、異文化への受容に寄与し、語学の学習は世界平和に貢献できるものと思っております。今後も微力ではありますが、日本語教育の普及と促進が一層繰り広げられることに尽力し、世界各国・地域との学術及び教育交流によって日本語教育の更なる発展と振興に寄与できましたら幸いです。皆様方と日本語教育における様々な新たな可能性を探究して歩んでいけたらと心より願うばかりでございます。

最後になりましたが、2023年に従来の研究会の主要事業や行事が再び実施できましたことは、ひとえ在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、日本関係各団体及び機関のご指導、ご鞭撻並びに会員の皆様方の温かいご支援、ご協力によるものと心より御礼を申し上げます。そして、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力にも感謝いたしております。

引き続き、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2023年度(2023年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 2022年9月24日～2023年5月20日、2022-23年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 2月19日、香港日本語教育研究会第十四回総会を開催しました。
- 3月25日及び26日、日本国際交流基金さくらネットワーク助成により、「日本語教師の専門性」の講演会及びワークショップを香港大学現代言語文化学部と共同開催しました。

【講演会】

演題 I : 「グローバル化・デジタル化の進展する日本語教育と日本語教師の役割」

講師：伊東 祐郎先生（国際教養大学 専門職大学院 教授）

演題 II : 「日本語教育者の専門性～日本国内における国家資格化の議論から」

講師：神吉 宇一先生（武蔵野大学 グローバル学部 准教授）

【ワークショップ】

演題 I : 「デジタル化の進展するテストング～日本語教師に求められる言語評価リテラシー」

講師：伊東 祐郎先生（国際教養大学 専門職大学院 教授）

演題 II : 「日本語教育者の専門性を考える～日本国内と海外、香港」
講師：神吉 宇一先生 (武蔵野大学 グローバル学部准教授)

- 5月14日、「第18回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催しました。
- 6月、『日本學刊』第26号を出版し、会員に郵送し、香港及び海外の日本語関係機関に送付しました。
- 7月2日、香港・マカオで2023年第1回日本語能力試験(N1～N5)を実施し、応募者数は8,853名でした。
- 7月15日、副学士課程の日本語成績優秀者奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接試験を実施しました。
- 8月19日、高校の日本語成績優秀者奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接試験を実施しました。
- 2023年9月23日～2024年5月18日、2023-24年度集中日本語教師研修を実施しています。
- 9月23日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者奨学金ならびに日本研究プロジェクト賞の授賞式を行いました。
- 11月18日及び19日、日本国際交流基金さくらネットワークの助成により、香港大学專業進修学院と「第13回国際日本語教育及び日本研究シンポジウム：つながる多様性、ひろがる可能性」を共催しました。

【基調講演】：

演題 I : 「相互理解のための日本語」再考——日本語教育を超えて
講師：平高史也教授 (愛知大学文学部特任教授・慶應義塾大学名誉教授)

演題 II : 近現代日本文学の再考——文学教育の多様性に向けて
講師：ミヒールセン・エドウィン 助教授 (香港大学現代言語文化学部助教授)

演題 III : 幸せに衰退する日本——バーチャルが格差を埋める時代に
講師：山田昌弘教授 (中央大学文学部教授)

【発表】：103件

【フォーラム】：日本語教育の展望

- 12月3日、香港・マカオで2023年第2回日本語能力試験(N1～N5)を実施し、応募者数は8071名でした。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2023年度は計11回の会議を実施しました。

【月例会】

土曜日午後2時～4時、当研究会事務所ホールまたはオンラインにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。講師は香港及び海外で高等教育、中等教育、日本研究に携わっていらっしゃる方々でした。2023年度は計5回開催しました。

- 1月14日、「目に見えない構造の明示化と主語論」。講師：Professor Wesley M. Jacobsen.
- 2月11日、「日本語教育の現況を知る——短大レベルでの日本語」。講師：飯田由美・Ivy Man・金子里美・Eric Kwong・高田和幸。
- 5月20日、「日本語教育を知る——教育機関別活動内容の報告——第3弾：「大学教育（専攻/非専攻/選択科目としての日本語）」」。講師：明石智子・上田早苗・塩見光二・橋本拓郎・村上仁。
- 9月16日、「日本語教育を知る——教育機関別活動内容の報告：民間日本語学校編」。講師：高橋リタ・岩波敦子・盧丙華。
- 12月16日、「日本への進学——日本升學講座」。講師：Ashley Luk・Ho Kai Chi・Poon Yin Chun。

【2023～2024年 集中日本語教師研修】

実施期間： 2023年9月23日～2024年5月18日

目的： ① ワークショップ形式で日本語教授法の基礎知識を概略的に学ぶ
② 実習を通して実践力をつける
③ 現役教師にとってのブラッシュアップの場
④ 参加者間の意見交換で多様な価値観に触れ、柔軟な思考力を養う

対象者： 日本語教師になりたい方／日本語教育歴通算5年以下の日本語教師

参加人数： 8名

使用教材： 『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』（ひつじ書房）

実習教材： 『大家的日本語 初級I』改訂版（大新書局）

以上